

RS  
R O O F

高機能の塗膜が屋根素材を  
長期にわたり保護します。

RS

## プラチナルーフMUKI

無機有機ハイブリッド弱溶剤2液形ハルスハイリッチ屋根用塗料

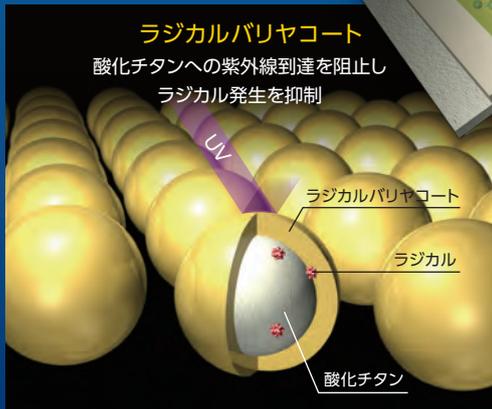
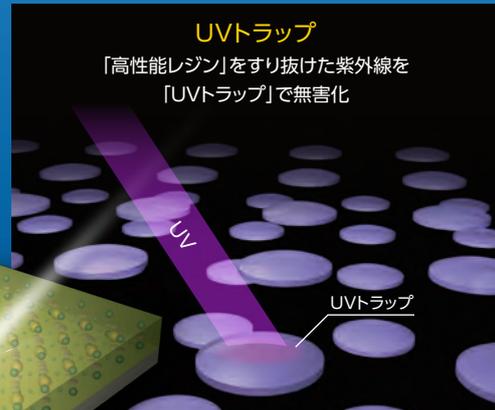
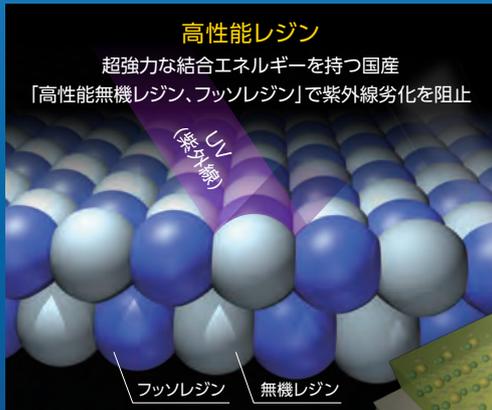
プラチナ会員限定製品

リフォーム  
サミット店

Supported by KANSAI PAINT

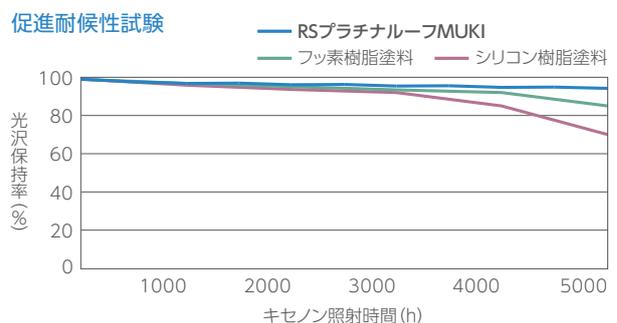
## 紫外線から素材を守る「ラジカル制御技術」

劣化の原因「ラジカル」の発生と活動を抑え、塗膜の耐候性を飛躍的に向上。



高機能の塗膜が屋根素材を長年にわたり保護します。

- 1 「無機」と「有機」ハイブリッド技術とラジカル制御技術の採用により最上位品フッ素を超越した超高耐候性
- 2 強靱な塗膜による優れた耐久性
- 3 親水化技術による超低汚染性
- 4 高性能レジンによる超光沢、艶も長持ち
- 5 防カビ・防藻性
- 6 窯業系・金属系どちらも使用可能

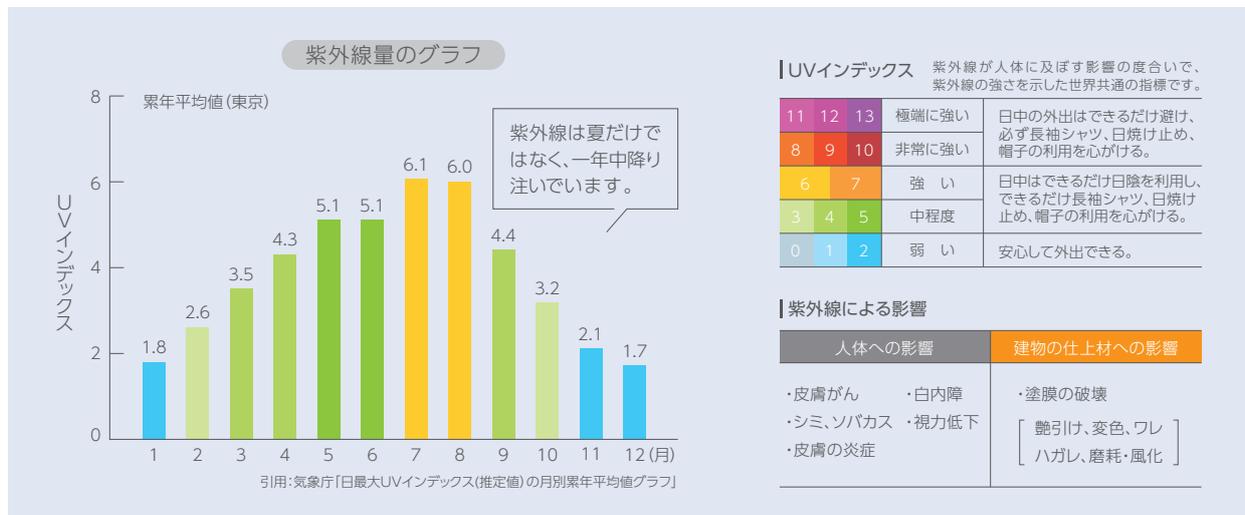


# 過酷な条件下で求められる性能

屋根は、外壁と比べ太陽光を直接受けて夏は猛烈に熱くなり、  
地域によっては酸性雨、積雪の滞留など最も過酷な環境に曝されます。



中でも紫外線は年中降り注ぎ塗膜や素材を劣化させるため、紫外線に強い塗料選びが大切です。



塗膜(仕上材)の劣化を防ぐためには、紫外線に強い塗料を選びましょう。

## RSプラチナルーフMUKI

「RSプラチナルーフMUKI」は関西ペイントのハイブリッドテクノロジーにより

「無機」と「有機」の特性を最大限に発揮させ

従来の最高位グレード「フッ素樹脂塗料」を超越。

お客様の大切な住まいを過酷な環境から長期間護ります。



高耐候



超低汚染



高光沢



防カビ・防藻

## 塗料性状

荷 姿	15kgセット (ベース/硬化剤=12.9kg/2.1kg)
混合比	ベース/硬化剤=6/1
色	各 色
艶	艶あり
仕上り感	平 滑
塗料比重	混合前:0.98 (ネオブラック) 混合後:0.97 (ネオブラック)
溶剤比重	0.84
加熱残分	55% (ネオブラック)
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法上の表示有害物	ベース:キシレン・エチルベンゼン 硬化剤:—
有機則 / 特化則	ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	ベース:第4類 第2石油類 (非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類 (非水溶性)
硬化剤の成分による区分	インシアネート

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

## 塗装条件

塗装方法	金属系素材			窯業系素材		
	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー	ハ ケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.12~0.14	0.12~0.14	0.12~0.14	0.12~0.14	0.15~0.25	0.15~0.25
希釈剤	塗料用シンナーA			塗料用シンナーA		

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

## 塗装間隔

項 目	温 度	
	23℃	
標準塗装間隔	最 短	4時間
	最 長	7日
使用時限		8時間

**下塗塗料** 下地に合った下塗塗料を選ぶことも重要なポイントです。

### RSマルチシーラー **溶剤**

紫外線をブロックしあらゆる素材へ優れた付着性を発揮。  
光触媒サイディングなどに最適な下塗材です。

【主な適用素材】 窯業系屋根素材 (新生瓦・波形スレート)

【主な素材適正】 焼付塗装面、フッ素塗装面、シリコン塗装面、ウレタン塗装面

### RSバリア **溶剤**

優れた防食性、幅広い下地適正を有した、  
鉛化合物など有害物質を含まないオールマイティープライマー。

【主な適用素材】 亜鉛メッキ・アルミ・カラートタン



# 提案色



ガーネットオレンジ



ローヤルレッド



チョコレート



シナモンブラウン



新ブラウン



コーヒーブラウン



セピア



ビスタブラウン



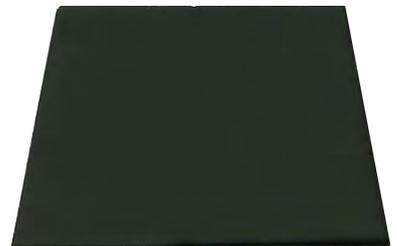
ネオモスグリーン



スチールグレー



◎ グリーン



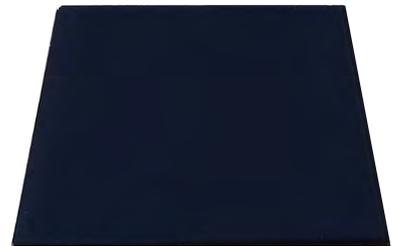
アイビーグリーン



グラニットグレー



◎ ブルー



◎ ナスコン



カーボングレー



ネオブラック

この色見本は、紙に塗装しているため実際の色・仕上がりと多少異なります。 ◎印は、材料費が割高になります。

## 施工上の注意事項

### 【共通事項】

- ①降雨の予想される日の塗装、および気温が5℃以下となる日の塗装は避けてください。
- ②使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- ③ペース、硬化剤は規定量の配合で行ってください。混合は攪拌機(オートマゼール)を用いて、よくかき混ぜて均一にしてから使用してください。(特に缶の四隅は十分に攪拌してください。)
- ④他の塗料との混合は避けてください。
- ⑤希釈は必ず塗料用シンナーAで行なってください。
- ⑥過希釈による施工は、剥離・仕上がり不良・色分け等の原因となりますので所定の希釈率を厳守してください。
- ⑦ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- ⑧使用期限以上経過した塗料は、所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないでください。[RSマルチシーラー(23℃で7時間以内)] [RSパリア(23℃で7時間以内)] [RSプラチナルーフMUKI(23℃で8時間以内)]。
- ⑨品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗膜確保による施工を行なってください。
- ⑩塗装用具などは、その日のうちにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ⑪秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露による艶引け現象がおこり易いため、時間を考慮して塗装を行なってください。
- ⑫エアレスによる塗装の場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行なってください。
- ⑬有機溶剤を使用しているため、施工・保管には十分に配慮してください。

### 【住宅屋根用化粧スレート、波形スレートなど】

- ①下地調整が不十分な場合には、塗膜剥離の原因となったり、光沢がでないもしくは艶むらが発生するなどの仕上がり不良が生じる恐れがあります。塗り替えの際には、必ず高圧水洗・ブラシなどによる水洗を行い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ②高圧水洗を行うと屋根が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。
- ③洗浄後、新生瓦の破損、役物の釘浮き、シーリング切れなどチェックを行い、補修が必要な場合には適切な処置を行ってください。
- ④新生瓦などの被塗面が雨・露・霜などで濡れているときは十分に乾燥させてください。未乾燥で塗装するとフクレ、塗膜剥離、ワレなどの原因となりますのでご注意ください。

### 【金属屋根面の場合】

- ①錆が発生している箇所はワイヤーブラシ・サンドペーパー等で完全に除去してください。
- ②ほこり・油・樹脂等は、塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折り曲げ部分はほこり・砂等がたまり易いので入念な清掃を行なってください。
- ③トタン素地露出部は[RSパリア]などで補修塗りを行ない、所定の塗装仕様で塗装してください。
- ④積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦葺の凸部、はげ部にはこすり付けるように増し塗りを行なってください。
- ⑤スノーダクトのような勾配の殆ど無い屋根の塗り替えは、高い耐水性能を要求されるため必ず下塗り1回、上塗り2回で塗装を行なってください。
- ⑥艶消しトタン屋根を塗り替える場合には、素材に対する上塗り塗料の吸い込みを抑えるため[RSパリア]などを下塗りとしてご使用ください。
- ⑦気温の高い日や被塗物温度が高い場合は「スーパードラブル」をご使用ください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

予 防 策	取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気、スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
	吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
対 応	皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
	火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。 火災が発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。 本来の目的以外に使用しないこと。 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
対 応	目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
	皮膚に付着した場合は：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

対 応	医師の診察を受けること。
	吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
保 管	指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
	本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
廃 棄	本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
	例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社  関西ペイントホームページ [www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

※ 製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(20年11月01日PNA) カタログNo.845

頒布価格 1,500円(税込)